

四半期報告書

(第53期第2四半期)

自 2019年7月1日

至 2019年9月30日

株式会社 エヌアイデイ

千葉県香取市玉造三丁目1番5号

(E05322)

表紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- | | |
|---------------------|---|
| 1 主要な経営指標等の推移 | 1 |
| 2 事業の内容 | 1 |

第2 事業の状況

- | | |
|--|---|
| 1 事業等のリスク | 2 |
| 2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | 2 |
| 3 経営上の重要な契約等 | 3 |

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- | | |
|-------------------------------------|---|
| (1) 株式の総数等 | 4 |
| (2) 新株予約権等の状況 | 4 |
| (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 | 4 |
| (4) 発行済株式総数、資本金等の推移 | 4 |
| (5) 大株主の状況 | 5 |
| (6) 議決権の状況 | 5 |

- | | |
|----------------|---|
| 2 役員等の状況 | 5 |
|----------------|---|

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

- | | |
|-----------------------------|---|
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |

- | | |
|-------------|----|
| 2 その他 | 14 |
|-------------|----|

第二部 提出会社の保証会社等の情報

(添付)四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月13日
【四半期会計期間】	第53期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社エヌアイデイ
【英訳名】	Nippon Information Development Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小森 俊太郎
【本店の所在の場所】	千葉県香取市玉造三丁目1番5号
【電話番号】	0478（52）5371
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレートデザイン本部長兼 経理部長 加藤 政次
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号
【電話番号】	03（6221）6811（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレートデザイン本部長兼 経理部長 加藤 政次
【縦覧に供する場所】	株式会社エヌアイデイ 本社 （東京都中央区晴海一丁目8番10号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第52期 第2四半期連結 累計期間	第53期 第2四半期連結 累計期間	第52期
会計期間		自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高	(千円)	8,708,197	8,575,916	17,964,983
経常利益	(千円)	940,758	849,486	2,168,528
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	(千円)	631,965	565,823	1,444,860
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	640,780	854,018	1,499,646
純資産額	(千円)	11,840,382	13,314,673	12,699,126
総資産額	(千円)	17,244,680	18,434,207	18,299,260
1株当たり四半期（当期）純利益金額	(円)	55.65	49.83	127.24
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額	(円)	—	—	—
自己資本比率	(%)	68.7	72.2	69.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	829,474	367,360	1,766,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△377,506	△792,981	△601,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△219,080	△238,814	△228,113
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	(千円)	8,173,167	8,212,507	8,876,942

回次		第52期 第2四半期連結 会計期間	第53期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	33.71	31.30

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期（当期）純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、個人消費・設備投資も持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外においては、米中の貿易摩擦の長期化や不確実な政治情勢などの影響を受け、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループの属する情報サービス業界においては、企業のIT投資は増加傾向で推移しました。一方で、技術者の不足感は非常に強く、人材確保を取り巻く環境は一層厳しくなっております。

当社グループは、中期経営計画「Smile（スマイル）2020」の最終年度を迎えた第1四半期連結会計期間より、より迅速にお客様のニーズに応えられるよう、先般、事業部を4事業部から3事業部にスリム化しました。これにより、ITを駆使した顧客の商品・サービスの競争力強化のためのソリューションの提案や、顧客企業の事業展開に合わせたスピード開発等を従来以上に推進しております。

このような取組みの結果、当第2四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

a. 財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、仕掛品の増加、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ809百万円減少し11,467百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ944百万円増加し6,967百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ134百万円増加し、18,434百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、未払金及び未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ319百万円減少し2,252百万円となりました。固定負債は役員退職慰労引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ161百万円減少し、2,866百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ480百万円減少し、5,119百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ615百万円増加し13,314百万円となりました。

この結果、自己資本比率は72.2%（前連結会計年度末は69.4%）となりました。

b. 経営成績

売上面では、各事業において安定した売上を確保し、売上高は8,575百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。一方、利益面では、売上総利益率が低下したこと、及び研究開発部門の増強で研究開発費が増加したこと等により、営業利益は740百万円（同12.8%減）、経常利益は849百万円（同9.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は565百万円（同10.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①システム開発事業

当事業では、公共・社会インフラ、カーエレクトロニクス等の分野の売上が増加した一方で、金融、FA・装置制御等の分野の売上が減少した結果、売上高は5,451百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。また、一部の案件で生産性が低下したこと等により、営業利益は542百万円（同9.0%減）となりました。

②システムマネジメント事業

当事業では、運輸・通信等の分野の売上が減少した結果、売上高は2,449百万円（同2.8%減）となりました。また、好条件の案件が収束したこと等により、営業利益は186百万円（同13.7%減）となりました。

③その他

その他には、データソリューション事業、プロダクト事業、人材派遣事業を分類しております。

このうち、データソリューション事業の売上・利益が減少しました。この結果、売上高は675百万円（同6.2%減）、営業利益は9百万円（同74.5%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ664百万円減少し、8,212百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は367百万円（前年同四半期比462百万円の収入減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益841百万円、売上債権の減少額361百万円等で資金が増加したことに対し、役員退職慰労引当金の減少額145百万円、たな卸資産の増加額146百万円、未払金の減少額141百万円、法人税等の支払額369百万円等で資金が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は792百万円（前年同四半期比415百万円の支出増）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出643百万円、出資金の払込による支出100百万円等で資金を支出したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は238百万円（前年同四半期比19百万円の支出増）となりました。これは主に、配当金の支払額238百万円等で資金を支出したことによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は60百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,479,320
計	17,479,320

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,109,490	13,109,490	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	13,109,490	13,109,490	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	—	13,109,490	—	653,352	—	488,675

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
小森 俊太郎	東京都中央区	19,088	16.81
小森 孝一	千葉県香取市	16,479	14.51
エヌアイデイ従業員持株会	東京都中央区晴海1-8-10	10,572	9.31
株式会社クリエートトニーワン	千葉県香取市佐原イ531	7,011	6.17
株式会社光通信	東京都豊島区西池袋1-4-10	6,171	5.43
小澤 忍	千葉県千葉市中央区	4,500	3.96
株式会社ブロードピーク	東京都豊島区西池袋1-4-10	3,990	3.51
鈴木 清司	東京都渋谷区	3,286	2.89
一般財団法人小森文化財団	千葉県香取市北3-2-28	3,000	2.64
馬場 常雄	千葉県船橋市	2,282	2.01
計	—	76,383	67.26

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,753,700	—	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,352,700	113,527	同上
単元未満株式	普通株式 3,090	—	—
発行済株式総数	13,109,490	—	—
総株主の議決権	—	113,527	—

② 【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社エヌアイデイ	千葉県香取市玉造三丁目1 番5号	1,753,700	—	1,753,700	13.38
計	—	1,753,700	—	1,753,700	13.38

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新宿監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,938,931	8,292,570
受取手形及び売掛金	3,117,700	2,756,553
仕掛品	122,918	269,481
その他	97,350	148,507
流動資産合計	12,276,901	11,467,113
固定資産		
有形固定資産	403,268	381,661
無形固定資産	90,686	118,151
投資その他の資産		
投資有価証券	4,141,858	5,091,886
繰延税金資産	954,992	815,922
差入保証金	308,241	347,374
その他	123,312	212,099
投資その他の資産合計	5,528,404	6,467,281
固定資産合計	6,022,359	6,967,093
資産合計	18,299,260	18,434,207
負債の部		
流動負債		
買掛金	393,651	385,285
未払金	428,181	241,667
未払法人税等	401,915	307,085
賞与引当金	895,568	927,898
その他	452,400	390,777
流動負債合計	2,571,716	2,252,714
固定負債		
退職給付に係る負債	2,334,719	2,339,172
役員退職慰労引当金	626,550	481,350
資産除去債務	45,908	46,297
その他	21,239	-
固定負債合計	3,028,417	2,866,819
負債合計	5,600,134	5,119,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	12,281,709	12,609,061
自己株式	△1,227,333	△1,227,333
株主資本合計	12,196,404	12,523,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	491,503	765,843
退職給付に係る調整累計額	11,219	25,074
その他の包括利益累計額合計	502,722	790,917
純資産合計	12,699,126	13,314,673
負債純資産合計	18,299,260	18,434,207

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	※2 8,708,197	※2 8,575,916
売上原価	6,875,937	6,808,160
売上総利益	1,832,259	1,767,755
販売費及び一般管理費	※1 983,504	※1 1,027,300
営業利益	848,755	740,455
営業外収益		
受取利息	3,424	4,599
受取配当金	76,608	83,159
投資有価証券売却益	1,675	-
その他	15,082	29,627
営業外収益合計	96,790	117,385
営業外費用		
支払利息	849	709
投資有価証券売却損	-	1,360
投資事業組合管理料	1,635	2,888
租税公課	2,245	3,150
その他	56	246
営業外費用合計	4,787	8,354
経常利益	940,758	849,486
特別利益		
固定資産売却益	-	916
特別利益合計	-	916
特別損失		
固定資産除却損	272	8,556
特別損失合計	272	8,556
税金等調整前四半期純利益	940,486	841,847
法人税等	308,521	276,023
四半期純利益	631,965	565,823
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	631,965	565,823
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,768	274,340
退職給付に係る調整額	3,046	13,854
その他の包括利益合計	8,815	288,195
四半期包括利益	640,780	854,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	640,780	854,018
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	940,486	841,847
減価償却費	42,654	50,543
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36,004	24,594
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,725	△145,200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,040	32,330
受取利息及び受取配当金	△80,032	△87,758
支払利息	849	709
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,675	1,360
固定資産売却損益 (△は益)	-	△916
固定資産除却損	272	8,556
売上債権の増減額 (△は増加)	330,795	361,146
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△148,674	△146,558
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	27,928	△49,387
仕入債務の増減額 (△は減少)	△63,698	△8,365
未払金の増減額 (△は減少)	△26,671	△141,780
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,593	△28,877
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	20,488	△54,254
その他	1,420	△4,159
小計	1,099,320	653,829
利息及び配当金の受取額	74,969	83,275
利息の支払額	△849	△709
法人税等の支払額	△343,965	△369,034
営業活動によるキャッシュ・フロー	829,474	367,360
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△18,001
投資有価証券の取得による支出	△517,640	△643,505
投資有価証券の売却及び償還による収入	160,675	98,639
出資金の払込による支出	-	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△1,701	△52,233
有形固定資産の売却による収入	-	916
無形固定資産の取得による支出	△2,868	△55,563
差入保証金の差入による支出	△23,484	△40,187
差入保証金の回収による収入	276	1,055
投資事業組合からの分配による収入	11,880	4,685
その他	△4,641	11,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377,506	△792,981
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	360,000	360,000
短期借入金の返済による支出	△360,000	△360,000
配当金の支払額	△219,259	△238,398
その他	178	△416
財務活動によるキャッシュ・フロー	△219,080	△238,814
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	232,887	△664,435
現金及び現金同等物の期首残高	7,940,280	8,876,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 8,173,167	※ 8,212,507

【注記事項】

(四半期特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
役員報酬	189,540 千円	167,770 千円
給料手当	213,456	247,104
賞与引当金繰入額	77,290	80,886
退職給付費用	12,654	13,902
役員退職慰労引当金繰入額	17,225	17,300

※2 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社グループでは、システム開発事業において、売上高の計上の基準となる検収が第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中する傾向があるため、第1四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ売上高が高くなっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	8,235,297 千円	8,292,570 千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△61,215	△79,216
別段預金	△914	△847
現金及び現金同等物	8,173,167	8,212,507

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	219,546千円	58円	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

(注) 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。上記の1株当たり配当額については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	238,471千円	21円	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	システム開発 事業	システムマネ ジメント事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	5,467,749	2,520,923	719,524	8,708,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	699,367	66,342	431,736	1,197,446
計	6,167,117	2,587,265	1,151,260	9,905,644
セグメント利益	595,867	215,856	35,881	847,606

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	847,606
セグメント間取引消去	2,652
全社費用(注)	1,038
その他	△2,541
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	848,755

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	システム開発事業	システムマネジメント事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	5,451,327	2,449,406	675,182	8,575,916
セグメント間の内部売上高又は振替高	787,749	83,813	423,575	1,295,139
計	6,239,076	2,533,220	1,098,758	9,871,055
セグメント利益	542,252	186,275	9,133	737,661

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	737,661
セグメント間取引消去	2,682
全社費用（注）	△425
その他	538
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	740,455

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（セグメント区分の変更）

第1四半期連結会計期間より、組織変更を行ったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、「エンベデッドソリューション事業」「ICTイノベーション事業」「フィナンシャルシステム事業」「ネットワークソリューション事業」「その他」としていた報告区分を、「システム開発事業」「システムマネジメント事業」「その他」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	55円65銭	49円83銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	631,965	565,823
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	631,965	565,823
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,355	11,355

- (注) 1. 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

株式会社エヌアイデイ

取締役会 御中

新宿監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田中 信行 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 遠藤 修介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エヌアイデイの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エヌアイデイ及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月13日
【会社名】	株式会社エヌアイデイ
【英訳名】	Nippon Information Development Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小森 俊太郎
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	千葉県香取市玉造三丁目1番5号
【縦覧に供する場所】	株式会社エヌアイデイ 本社 (東京都中央区晴海一丁目8番10号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役小森俊太郎は、当社の第53期第2四半期（自2019年7月1日 至2019年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。